

本郷っ子だより

富士見町立 本郷小学校

第4号 令和6年11月15日

文責：宮坂 文子（教頭）

「全校のみんなが安心して過ごすことができ 一人一人の他喜力の花が咲く本郷小」

今月はなかよし月間です。ねらいは「自分と友だちの関係について考えたり、自分や相手の気持ちや個性に向き合ったりすることを通して、多様性を認め、互いに助け合い、自他を大切にしようとする気持ちを育てる。」
「本郷小が大切にしてきた『他喜力』について改めて考え、日々の生活に『ありがとう』の言葉を広げ、笑顔で過ごすことを意識する。」です。

実施内容は、次の通りで、様々な取組が計画されています。

「他喜力の花を咲かせよう」

友だちにされてうれしかったこと、自分が友だちにできてあげて良かったことをたくさん見つけて紹介し、本部会から発信して

「他喜力の花」を育てる。



音楽集会：「ソラシドマーチ」 リーダー学年：3年生

日時：11月12日（火）、11月26日（火）

なかよし月間を通して「ソラシドマーチ」を3年生がリーダー学年として進める。

全校は3年生の思いを受けとめ、この曲を歌いながら「お互いを大切にすること」を意識して生活したい。



担任による学級での読み聞かせ

日時：11月18日（月）～11月22日（金）ドリルタイム
昇降口前に展示した「人権に関する本」や担任が選択した本の読み聞かせを行う。

6年生の紹介文
つきです。



各学級の廊下に
作品が展示されて
います。

なかよしアート

日時：11月5日（月）～11月20日（水）

年に1度全校児童の作品を一斉に展示し、互いの作品を見合うことで表現のよさに気付く場とする。

○人権・福祉教育に絡めた校長講話 日時：11月13日（水）ドリルタイム

○「ありがとういっぱい本郷小」読み聞かせタイム 小澤先生 各学級の図書館の時間

○他喜力にかかわる講演会 有坂 栄康さん 日時：11月20日（水）14:05～14:50 場所：体育館

ねらい：全校児童が、人権教育に関するお話をお聞きし、人権に関する意識を高める機会とする。

○焼き芋大会&姉妹学級交流 日時：11月28日（木）1～2校時

焼き芋会を通してさらに姉妹学級の親睦を深める。協力して焼き芋会を行い、収穫への感謝をする。

○児童会祭り 日時：11月29日（金）

児童会スローガンを意識し、全校が仲良く楽しめるような企画を行い、月間のめあてが達成できるようにする。

大事な

ひでやす 有坂 栄康さん 講演会「私の命を生ききる～みんなが幸せ～」のお知らせ

日時:11月20日(水)14:05～14:50(全校・保護者)
14:55～15:10(保護者のみ)

場所:体育館

①講演会の隊形について

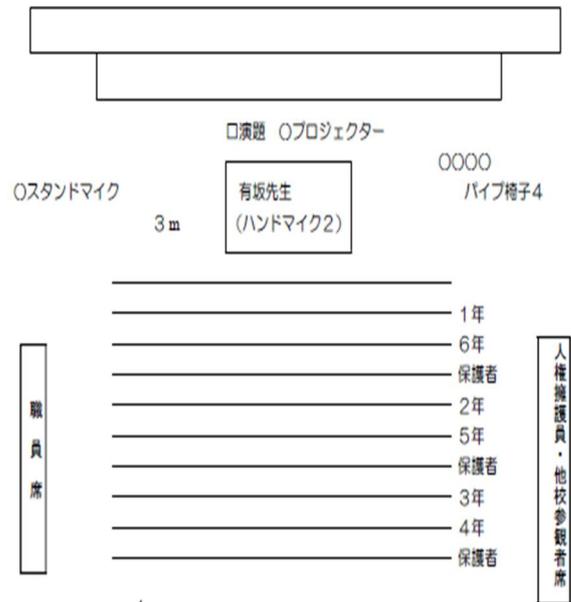
- ・姉妹学級のペア同士が前後になるように並ぶ。
- ・自分の子どもの後ろに保護者の方が並ぶ。兄弟姉妹がいる場合、上の学年に並ぶ。
- ・講師の先生の指示があったら、姉妹学級のペアと保護者で4～6人程度のグループを作る。

②寄付金活動、著書の販売について

有坂先生の講演会をサポートする「あいいろのツバメプロジェクト」の活動は寄付金によって支えられています。スタッフはボランティアですが、交通費等は皆様からの寄付金でまかっています。ご協力いただける方は、体育館入り口付近で寄付金活動と書籍販売をしておりますので、よろしくお願いいたします。

③貴重な講演時間ですので、教室からの移動を速やかにお願いします。

人権講演会 会場図



4月18日、全国一斉に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果について報告させていただきます

国語では、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの思考力・判断力・表現力等について全国・長野県平均を共に上回りました。一方、言語の特徴や使い方に関する事、情報の扱いに関する事項、我が国の言語文化に関する事項の知識及び技能については下回り、特に、我が国の言語文化に関する区分について課題が残りました。

言葉の使い方の特徴や使い方に関する事項では、「競技」「投げる」といった学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力が大きく下回り、無解答率も高いことから、日常で文章を書く際に既習の漢字を使う場面を意図的に仕組んでいく必要があります。また、情報と情報を関連付けの仕方や図などによる語句と語句の関係の表し方の理解、自分の考えが伝わるような書き表し方の工夫についても課題があります。データをもとに自分の考えを記述する学習、そしてその中で既習の漢字を正確に取り入れる学習活動に重点を置いて取り組んでいきたいと思えます。

算数は、全ての領域において、全国平均並み～やや平均を下回る結果となりました。

計算の仕方の説明や除数が小数の場合の除数と商の関係の理解は、平均点を上回っていることから、数の仕組みについては理解しているといえます。直方体の見取り図、円柱における直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係、球を利用した立方体の体積など、立体図形に関する問題が平均より大きく下回る問題もあったことから、空間図形の認知や円の学習の定着に課題があります。1学期に円の面積の学習を通して再学習しましたが、定期的に復習していく必要があります。

ドリルタイムや家庭学習を通して、学年をさかのぼっての基礎基本の定着を図ったり、授業の中での対話を通して児童同士で聞いたり教えたりできる活動を取り入れていきたいと思えます。

また、問題場面の数量の関係を式に表すような問題では、無解答はないものの、平均を下回ることから、国語の問題を読む力をつけるとともに、問題場面を図や絵で表して視覚的にとらえるなど問題把握の力をつけていくようにしていきたいと思えます。